

## 山出し用苗木の充実度判定に関する簡便法の案出(Ⅱ)

安永 邦輔

大分営林署 大津 正憲・穴井 洋平  
九州大学農学部 青木 尊重

## 1. はじめに

山出し用苗木の充実度判定簡便法の案出と、この試験の7月末現在(4ヶ月経過)の伸長量についての調査結果は既に報告した。<sup>1)</sup>

今回は引続き12月末現在の伸長量(1成長期経過)の調査結果と充実苗木育成のためにスギ苗木とヒノキ苗木の成長期における第2頂芽と力枝芽の充実度変化について予備的調査を行ない、若干の知見を得たので併せて報告する。

## 2. 12月末調査結果

- 1) 12月末現在の伸長量は表-1の通りである。
- 2) 12月末現在の伸長量の順位は7月末現在の伸長量順位と変わらないが、それぞれの伸長量は7月末現在の伸長量の大きいものほど12月末現在の伸長量もその格差を大きくして伸長した。

## 3. 成長期における充実度変化

## 1) 試験地の概況

(1) 試験地 大分市畑中801番地の住宅敷地内で5年前に畑地をそのまま宅地に変換した埴質壤土である。その後は全く作物栽培はされず雑草の繁茂は旺盛で、年々の刈払い雑草はそのまま放置を繰返して来た比較肥沃な土壌である。

(2) 試験地設定の方法、昭和59年4月27日に表土を掻き寄せて畦立(高さ0.2m×巾1m×長さ1.5m)をし、スギ、ヒノキ1年生実生苗木を夫々3本ずつ50cm間隔で植付けた。

(3) 管理 6月以降数回の除草は、それを畦表面に乾燥防止を兼ねて被覆し、施肥・灌水は全く行なわなかった。

(4) 測定 4月から12月まで10日置きに測定した。

## 4. 結果

1) 第2頂芽と力枝芽の充実度は3本平均値で、スギ苗木は第1図、ヒノキ苗木は第2図のとおりである。

2) スギ苗木の第2頂芽の充実度変化は、4月下旬の植付時は0.975を示し、6月下旬には0.925まで降下した。その後、7月上旬には上昇をはじめ、8月中旬には0.95まで上昇し、8月下旬以降は0.93~0.925を横這して12月の生長休止期に入った。

3) スギ苗木の力枝芽の充実度変化については、4月下旬の植付時は、0.925を示し、6月中旬には0.875まで降下した。その後、上昇をはじめ7月下旬には0.90の第1回目の上昇の山を示したが、それも8月下旬には0.875と降下し、以後は10月上旬まで横這を続けた。11月中旬には再び0.90まで第2回の上昇の山を示し、12月上旬には0.875と降下し、2回の山を形成して生長休止期に入った。

4) ヒノキ苗木の第2頂芽の充実度変化は、9月中旬までは植付時の0.975を示して横這し、10月上旬にかけて0.958まで降下する。その後は12月上旬にかけて0.975まで戻して生長休止期に入った。

5) ヒノキ苗木の力枝芽の充実度変化については、7月中旬までは第2頂芽と同じく植付時の0.975を示して横這し、7月下旬にかけて0.95に降下し、10月上旬まで横這を続ける。その後は12月上旬にかけて0.925まで降下して生長休止期に入った。

## 5. 考察

1) 試験地は設定以前が休閑地で雑草繁茂の草丈・量・草色の濃さ並びに土壌構造等からして地力のある比較的肥沃な土壌の感じがしたが、晩秋にはスギ・ヒノキ苗木とも力枝芽の充実度は低下した。

2) スギ苗木・ヒノキ苗木の生長期における頂芽と力枝芽の充実度曲線には、スギ苗木は相似形で降下し、ヒノキ苗木は力枝芽のみの晩秋降下と、それぞれ異なった変化が見られた。

## 引用文献

- (1) 安永邦輔・大津正憲・穴井洋平・青木尊重：日林九支研論集 No.38, 73-74, 1985

Kunisuke YASUNAGA Fukuoka 811-23

Masanori OHTSU & Yohei ANAI (Ohita Natl. For. off., Ohita 870)

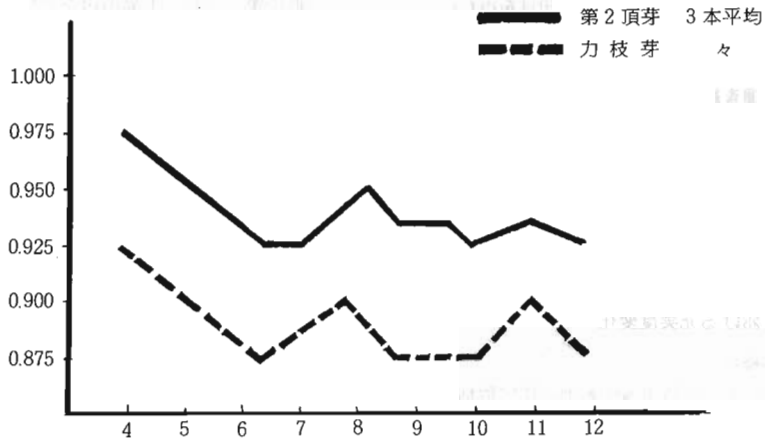
Takasige AOKI (Fac. of Agri., Kyushu Univ., Fukuoka 812)

A convenient method for inspection of substantiality in forest tree seedlings (Ⅱ)

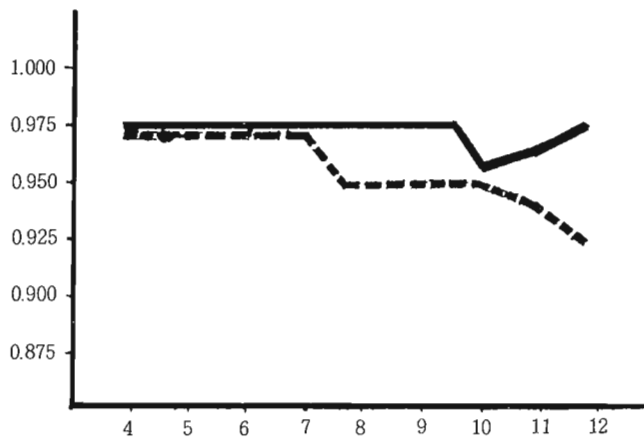
表-1 比重別・伸長量

比 重	平均苗長	平均根径	苗長	平常本数	平均伸長量	平均伸長量
	①	②	③		(7月未現在)	(12月未現在)
	cm	cm	直径	本	cm	cm
0.825	49.72	7.20	6.91	25	16.08	20.60
0.850	53.13	7.55	7.03	45	17.04	24.44
0.875	57.80	7.80	7.41	46	17.57	26.48
0.900	61.84	8.52	7.26	44	18.07	27.02
0.925	63.70	8.70	7.25	40	20.50	29.85
0.950	53.00	7.50	7.07	(2)	(29.50)	(41.50)

- 注 1. 調査対照はヒノキ・実生・1回床替・2年生  
 2. ①②③④⑤ 欄の数値は正常本数に対する平均値である。  
 3. ( ) は資料不足数値



第1図 スギ芽の充実度曲線



第2図 ヒノキ芽の充実度曲線